

閑谷学校の瓦と藩主用陶器を焼いた窯跡

閑谷焼窯跡



指定区分	県指定史跡
読みかた	しずたにやきかまあと
所在地	備前市閑谷新田
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	閑谷学校創建時の瓦を焼くために造られた窯で、後にその窯を利用して藩主が使用する茶器・細工物などを焼成した。2基のうち1基は全形が分かる程度残存するが、もう1基は一部が宅地となっており、僅かに残る窯の側壁などに往時の面影を見出すことができる。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	